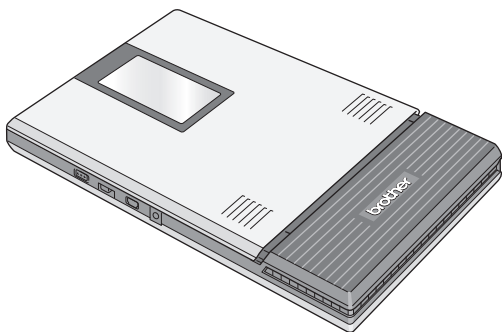


brother

MPRINT

基本操作説明書

MW-260MFi
MW-260 TypeA
モバイルプリンター



- ご使用になる前に必ず本書をお読みください。
- 本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見ることができるようにしてください。

はじめに

このたびは、モバイルプリンター MPrint MW-260MFi または MW-260 TypeA (以下「本機」)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機はパソコンまたはモバイル端末と接続し、簡単な操作で印刷できる、軽量、薄型の感熱式モノクロモバイルプリンターです。

本書は、お使いになるための注意事項や本機の操作方法を記載しています。ご使用になる前に必ず本書をお読みの上、正しくお使いください。

本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

○本書の内容は予告なしに変更することがあります。

○本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁じられています。

○本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。お問い合わせ先は、巻末に記載しています。

○地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他特殊な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。

○本機の使用または使用不能から生じるいかなる他の損害（消失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信手段の消失など）に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。

○万一、当社の製造上の原因による品質不良があった場合には、商品をお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦いただきます。

○当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

はじめに

ホームページのご案内

弊社ホームページでは、最新の情報をお届けしています。
最新の商品情報やプリンタードライバー、取扱説明書をぜひご覧ください。

- ・ モバイルプリンター製品紹介のページ
<http://www.brother.co.jp/product/mwprinter/>
- ・ サービス & サポートホームページ
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
<http://support.brother.co.jp/>

ソフトウェアのインストーラーは、弊社ホームページ
(<http://www.brother.com/inst/>) からダウンロードできます。

開発者向け情報のページでは、各ホストに対応した SDK や開発
情報が無償でダウンロードいただけます。

- ・ モバイルプリンター開発者専用情報
<http://www.brother.co.jp/dev/mwprintersdk/>

目次

はじめに	1
目次	1
取扱説明書の構成	2
同梱品一覧	2
各部の名前	3
使い方	5
保護フィルムを取る	5
充電電池を入れる / 取り外す	5
充電する	6
表示ランプと本機の状態	9
電源を入れる / 切る	12
IrDA (赤外線) を使う	13
Bluetooth を使う	14
用紙の準備	18
用紙をセットする	20
本機を使用する	22
排紙する	23
ペーパーガイドを使う	24
お手入れをする	25
付録	27
こんなとき	27
製品仕様	30
よくあるご質問	31

1 取扱説明書の構成

本機には、安全にお使いいただくためにと基本操作説明書とソフトウェアユーザーズガイドが用意されています。
ソフトウェアユーザーズガイドはサポートブラザーからダウンロードしてください。

それぞれの文書には、以下のような説明が記載されています。

安全にお使いいただくために

本機をお取扱いいただく際の注意事項を説明しています。

基本操作説明書

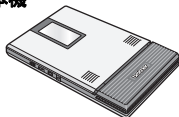
本機のセットアップのしかた、ドライバーやソフトウェアのインストールのしかたなどについて説明しています。

ソフトウェアユーザーズガイド

ソフトウェアの使用方法を説明しています。

2 同梱品一覧

本機



USB ケーブル



ペーパーカセット

C-211 感熱紙
(50 枚入り)



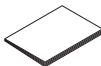
充電器 (AC アダプター)



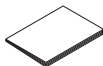
リチウムイオン
充電電池 (BT-200)



基本操作説明書
(本書)

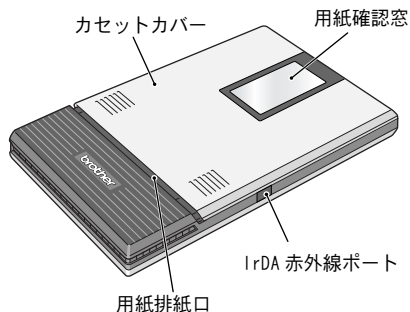


安全にお使いいただく
ために

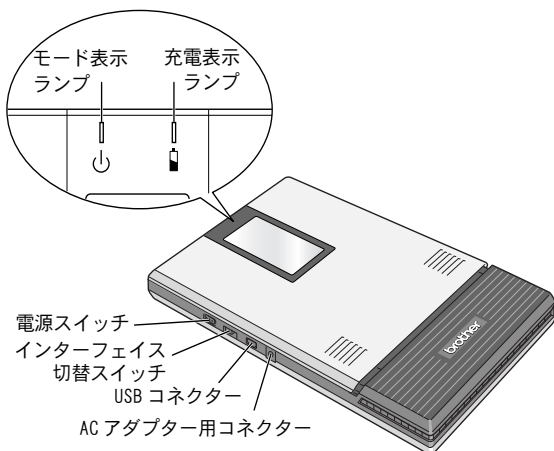


3 各部の名称

右側面



左側面

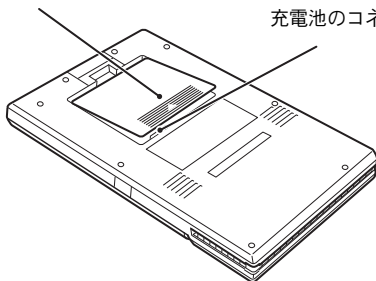


各部の名称

背面側

裏カバー

充電機のコネクター



4 使い方

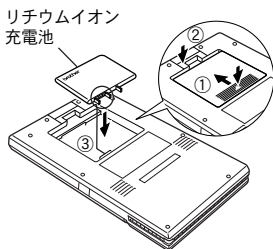
保護フィルムを取る

出荷時には、用紙確認窓に保護フィルムを貼っています。最初にお使いの際には、保護フィルムをはがしてご利用ください。

充電電池を入れる / 取り外す

充電電池を入れる

- 1** 本機の裏面、充電電池カバーを①の方向にスライドします。
- 2** ②の箇所指を掛けて外してください。
- 3** ③のコネクター部分を合わせてリチウムイオン充電電池を設置します。
- 4** 上記 2, 1 の順で操作をし、カバーを閉めてください。



充電電池を取り外す

- 1** 本機の裏面、充電電池カバーを①の方向にスライドします。
- 2** ②の箇所指を掛けて外してください。
- 3** 充電電池を取り外します。
- 4** 上記 2, 1 の順で操作をし、カバーを閉めてください。



● 充電電池を取り扱う場合、安全にお使いいただくためにの注意事項を合わせてご参照ください。

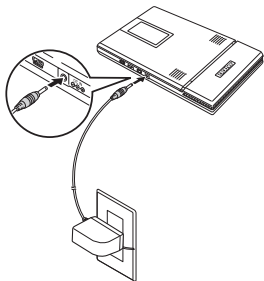
充電する

専用の AC アダプターで充電して使用します。

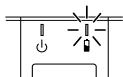
ご購入後は、必ず充電表示ランプ（充電中はオレンジ色に点灯）が消灯するまで充電してからお使いください。

- 1** 本機の AC アダプター用コネクターに AC アダプターのコネクターを接続します。

- 2** AC アダプターのプラグを家庭用コンセント（AC100V）に差しこみます。自動的にリチウムイオン充電池の充電が開始されます。



- 充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、充電表示ランプが消灯します。
- 充電表示ランプがオレンジ色に点灯しない場合には、充電池が正しくセットされていない可能性があります。



- 充電池残量が 0% の状態から満充電になるまで約 3 時間かかります。（電源オフ時）
- 充電は 5℃～40℃ の環境下で行ってください。（それ以外の温度下では、充電されません。）
充電中に上記以外の温度範囲になった場合は、充電を停止し、充電表示ランプも消灯します。
- Bluetooth でお使いの時は、充電時に電源を切ってくださいことをお勧めします。プリンターが Bluetooth のスリープモードになっていると、一旦満充電になった後、充電は終了しますが、スリープモードによって充電池を消費し続けます。

3 充電後は AC アダプターを必ず外します。



- 本機は、リチウムイオン充電電池が挿入されていない場合、AC アダプターの電力だけでは動作しません。



- 回路を保護するため、極端に高温または低温のときは充電機能が働きません。
- AC アダプターのケーブルを AC アダプターに巻き付けたり、折り曲げたりしないでください。断線の原因となります。



- 充電電池残量が0%の状態から満充電になるまで約3時間かかります。(電源オフ時)

使わない時のリチウムイオン充電電池の保管について



●保管時には、リチウムイオン充電電池を本体から取り外して涼しく湿度の低い、なるべく温度の一定のところ（温度 15℃～25℃、湿度 40%～60% 推奨）で保管してください。

※高温環境下ではリチウムイオン充電電池の劣化が進みます。高温（車庫内、ストーブの近く、電気カーペットの上など）環境、直射日光の当たる環境を避けて下さい。

●長期間ご利用にならない場合は、リチウムイオン充電電池を本体から取り外して、冷暗所にて保管ください。

保管の際には、フル充電状態を避けてください。充電表示ランプが1回点滅するまでご使用頂き、保管していただくことをお勧めします。

※保管の際は、必ず本体から AC アダプターを外してください。

※端子部に金属が触れないようにご注意ください。端子間のショートにより充電電池が故障する可能性があります。

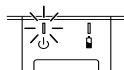
・過放電による充電電池の劣化を防止するために、半年に1回程度充電し、再度、充電表示ランプが1回点滅するまでご使用頂き、保管していただきますようお願いいたします。

表示ランプと本機の状態

■モード表示ランプ

モード表示ランプが青色や緑色のときは正常な状態、モード表示ランプが赤色のときはエラー状態を表します。

モード表示ランプが緑色の時は USB または IrDA インターフェイスが使用でき、青色のときは Bluetooth または USB インターフェイスのどちらを使用しても通信できます。ただし、いったん通信を開始すると、印刷が完了するまではもう一方のインターフェイスを使用して通信することはできません。



ランプの色	ランプの状態	本機の状態
青	点灯	受信待機状態 (Bluetooth または USB 使用可能)
	0.5 秒ごとに点滅	通信中 (印刷データ受信)
	3 秒ごとに点滅	スリープモード (省電力待機状態、Bluetooth 通信のみ使用可能)
	2 秒ごとに点滅	プリンターから iPad* に接続中 (MW-260MFi のみ)
緑	点灯	受信待機状態 (IrDA または USB 使用可能)
	点滅	通信中 (印刷データ受信)
赤	点滅	エラー状態
	点灯	システムエラー

* は iPad、iPhone、iPod などの総称とする。

使い方

エラー状態になったら…(以下のエラー内容を確認してください。)

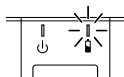
エラーの内容	解決方法
ペーパーカセットなし ペーパーカセットの方向間違い 用紙なし	用紙が入っているペーパーカセットを正しくセットしてください。 (→ p. 18 参照)
紙詰まり	一旦ペーパーカセットを外すか、プリンターの電源を入れ直すと、エラーが解除されます。 詰まった用紙を取り除いてください。(→ p. 23 参照) プリンターの電源を入れ直しても、詰まった用紙が取り除かれないと、エラー状態が続きます。 用紙送りローラーを清掃し、紙粉を取り除いて下さい (→ p. 26 参照)
通信エラー	通信状態を確認してください。 (→ p. 14 参照) 数秒間待って、エラーから復帰した時に、印刷を再開させるにはデータを送りなおしてください。 Bluetooth 接続時、しばらく待っても復旧しない場合は、再度接続しなおしてください。
高温エラー	本機内部が高温になっています。温度が下がるまでお待ちください。 印刷途中で高温エラーになった場合、途中まで印刷された用紙は、フィードして排出されます。

システムエラーになったら…

故障している可能性があります。お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。

■充電表示ランプ

充電表示ランプで、電源の状態が確認できます。充電表示ランプには2つの機能があります。



①充電状態の確認（ACアダプター接続時）

ランプの色	ランプの状態	本機の状態
オレンジ	点灯	充電中
	消灯	充電完了
	点滅	リチウムイオン充電電池の異常

②充電電池残量の確認（リチウムイオン充電電池で起動時）

ランプの状態	充電電池残量の目安
消灯	充電電池残量 30% 以上
1 回点滅	充電電池残量 30% 未満
2 回点滅	充電電池残量 20% 未満
3 回点滅が持続	要充電

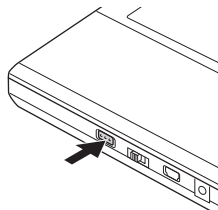


- 充電電池を長持ちさせるため、できるだけ電力を使い切ってから充電させてください。
- 3 回点滅が続くようになってから充電してください。

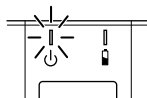
電源を入れる / 切る

1 電源スイッチを押します。

→ モード表示ランプが点灯するまで押します。



→ 電源が入ると、モード表示ランプが青色（インターフェイス切替スイッチがBluetoothの場合）または緑色（インターフェイス切替スイッチがIrDAの場合）に点灯します。



（→ p. 9「表示ランプと本機の状態」参照）



●本機は、誤って電源が入ってしまうことを防ぐため、軽く触れただけでは電源が入らないようになっています。電源が入らない場合は、少し長めに電源スイッチを押してください。

●本機は、リチウムイオン充電電池の消耗を防ぐため、使用中に以下の機能が働きます。

インターフェイス切替スイッチがBluetoothの場合：一定時間操作やデータ通信が行われないと、自動的にスリープモード（→ p. 9 参照）に入ります。自動的にスリープモードに入るまでの「オートスリープ時間」は [プリンターのプロパティ]-[デバイスの設定] にある [ユーティリティ...] で設定できます。（→ソフトウェアユーザズガイド参照）

インターフェイス切替スイッチがIrDAの場合：一定時間操作やデータ通信が行われないと、自動的に電源が切れます。自動的に電源が切れるまでの「オートパワーオフ時間」は [プリンターのプロパティ]-[デバイスの設定] にある [ユーティリティ...] で設定できます。（→ソフトウェアユーザズガイド参照）

IrDA（赤外線）を使う

1 インターフェイス切替スイッチで IrDA（赤外線）を選択します。

→ 電源が入っていると、モード表示ランプが緑色に点灯します。

2 本機の IrDA 赤外線ポートとモバイル端末の赤外線ポートを向かい合わせにして、20 cm以内に近づけます。



● IrDA（赤外線）を選択している時は、Bluetooth 機能は使えません。

- 通信中は、本機やモバイル端末を動かさないでください。
- 本機とモバイル端末の間に障害物を置かないでください。
- 本機が USB ケーブルで接続されている場合や、モバイル端末側がシリアルコネクタを使用している場合は、IrDA が使えません。
- パソコンとの IrDA 赤外線通信には対応していません。
- その他の詳細は、お使いのモバイル端末の取扱説明書を参照してください。

Bluetooth を使う

Bluetooth について

■Bluetooth 機能使用上の注意事項

Bluetooth 機器の発する電波は、周囲の電子機器の動作に影響を与える恐れがあります。下記の場所では Bluetooth スイッチをオフにしてください。

- ・ 病院内
- ・ 航空機内
- ・ ガソリンスタンドなど引火物付近
- ・ 火災報知機

■良好な通信環境のために

Bluetooth は電波を使った無線技術ですので、下記の場所では接続しにくくなります。

- ・ 他の電子機器の付近
- ・ 放送局や無線機の付近
- ・ ワイヤレス LAN (IEEE802.11) 使用域

■その他の注意事項

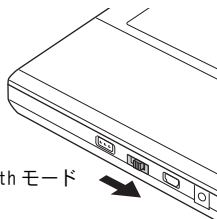
Bluetooth 機器は、電源を入れてから Bluetooth 機能が使えるようになるまでに、時間がかかることがあります。この時差は機器によって異なります。

■Bluetooth で印刷する場合の注意事項

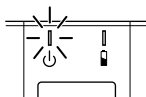
パソコンをご使用の方は、本機のプリンタードライバーをインストールする前に、パソコンまたはモバイル端末で Bluetooth 機能が使用できることを確認してください。

本機とパソコンまたはモバイル端末が Bluetooth で通信するための、基本的な設定の手順を説明します。詳細は Bluetooth デバイスの取扱説明書を参照ください。

- Bluetooth スイッチを切替え、Bluetooth を有効にします。



→ モード表示ランプが青色に点灯します。



● Bluetooth を選択している時は、IrDA (赤外線) 機能は使えません。

- パソコンまたはモバイル端末で Bluetooth 接続ソフトウェアを実行します。

- Bluetooth 接続ソフトウェアで Bluetooth デバイスを検索します。

→ 「MW-260MF_****」または「MW-260****」が検出されます。
「****」はシリアルナンバー (PIN コード) の下 4 桁です。

- 検索された Bluetooth デバイスの一覧から本機を選択して、接続を確立します。

パソコンまたはモバイル端末を本機に初めて接続するときは、「PIN コード」(または「パスワード」) の入力を要求されます。

- 5** 「PIN コード」(または「パスワード」、「パスコード」)を入力します。(工場出荷時は、本機のシリアルナンバーの下4桁に設定されています。)



Bluetooth 接続ソフトウェアに本機が接続済みとして登録されます。

- 6** パソコン使用時は、Bluetooth 接続ソフトウェアで本機との接続方法として「シリアルポート」を選択します。
Bluetooth デバイスによっては、2 度目以降も接続時に「PIN コード」の入力を要求されることがあります。



- COM ポート番号が表示されたらメモをとってください。
(パソコンまたはモバイル端末の種類によっては、印刷時に COM ポート番号が必要です。)
- 端末から Bluetooth でプリンターを検索できない場合は、プリンターがほかの端末と接続している可能性があります。
接続している端末で Bluetooth 切断するか、プリンターの電源を入れなおしてください。
- プリンターがスリープモードに移行しても Bluetooth 接続を維持します。
- プリンターがスリープモード中に、Bluetooth 切断された場合等は、プリンターが一時的にスリープ状態を解除することがあります。
- データ通信中に、端末のスマートカバーを閉じると、通信できないことがあります。
- 端末が接続したプリンタから離れることによって、接続が切れてしまった場合は、iPad/iPhone/iPod の設定から「Bluetooth」を選択し、Bluetooth 端末一覧から接続したい端末をタップすることで接続を行ってください。

■自動再接続機能について (MW-260MFi のみ)

プリンターと Bluetooth 通信を行う為には、Bluetooth 接続が切れる度に iPad* の設定から「Bluetooth」を選択し、Bluetooth 端末一覧から接続したいプリンターを選択して Bluetooth 接続状態にしておく必要があります。

Bluetooth 自動再接続機能は、何らかの理由で Bluetooth 接続が切れた場合に、プリンターが記憶している最後に接続した端末情報を用いて、最後に接続した iPad* に対しプリンター側から自動的に再接続する機能になります。(プリンターの電源が切れてから入れ直した時や、iPad* が一度圏外になってから圏内になった時など)

プリンターは、iPad* と接続中には、他の端末で検索しても見つかりません。

自動再接続機能のオン / オフ切り替えはプリンタードライバーユーティリティから設定できます。詳細はソフトウェアユーザズガイドを参照ください。

最後に接続した端末情報を本体から削除するには下記の操作を行ってください。

(端末情報を削除することにより、他の端末から接続しやすくなります。)

インターフェイス切替スイッチで IrDA (赤外線) を選択した後、電源を「オン」・「オフ」してください。

* は iPad、iPhone、iPod などの総称とする。

用紙の準備

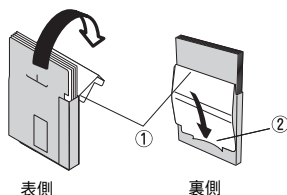
本機専用のペーパーカセットを使用してください。他の用紙を使用すると、給紙不良や、プリンター本体の故障の原因となります。

ペーパーカセットを用意する

本機にペーパーカセットをセットするための準備をします。

- ペーパーカセットの準備中に、用紙が落ちないように注意してください。

- 1** 裏側の折り線①に沿って、フタをしっかりと折り曲げます。



- 2** フタの先を裏側の切り込み口②に差し込みます。



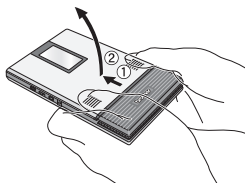
ペーパーカセットの取り扱い

- 本機は、セットしたペーパーカセットによって用紙の種類を識別し、その用紙に最適な設定を自動的に行っています。用紙を抜いて別のカセットに入れ替えないでください。
- 一度使用したり、ペーパーカセットから出した用紙をもう一度ペーパーカセットに戻さないでください。
- ペーパーカセットは紙製です。使用後は、各自自治体の決まりに従って廃棄してください。
- 故障の原因になるので、やぶれたり、変形したカセットは使用しないでください。
- 極端に湿度の高い場所では、ペーパーカセットの準備をしないでください。動作不良の原因となります。
- 濡れた手でペーパーカセット・用紙に触れないでください。動作不良の原因となります。
- 高温多湿、日光、ほこりを避けて保管してください。
- 保管するときは、必ずペーパーカセットのフタを閉めてください。
- 炎天下の車内に放置しないでください。
- 変色のおそれがあるので、なるべく早くご使用ください。

用紙をセットする

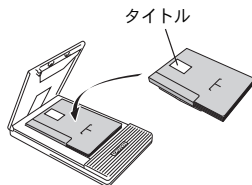
- 1** 本機上面のカセットカバーを①の方向にスライドさせます。

→ カセットカバーが②の方向に開きます。



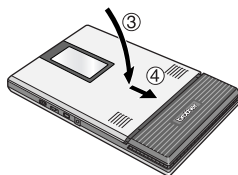
- 2** ペーパーカセットをセットします。

ペーパーカセットのタイトル
(用紙の種類表示用) を上に向け
ます。用紙の先端が手前にな
るようにします。



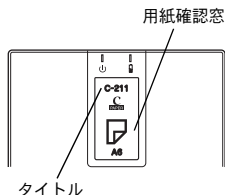
- 用紙の先端が折れ曲がらないよう、揃えてセットします。用紙の先端が折れ曲がったり、不揃いだと、紙詰まりの原因となります。
- 用紙の交換は、AC アダプターおよび USB ケーブルを外してから行ってください。

- 3** カセットカバーを③の方向に閉じます。



- 4** カセットカバーを④の方向にスライドさせます。

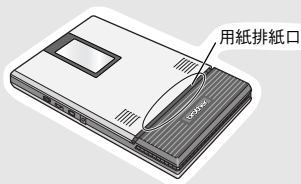
ペーパーカセットを正しくセットすると、用紙確認窓からタイトルが確認できます。



→ カセットカバーがロックされます。



- ペーパーカセットから用紙を取り出して、直接本機にセットすることはできません。
- 用紙の種類を変更するときは、ペーパーカセットごと取り替えます。
- 印刷実行中に、本機用の紙排紙口のまわりに力を加えたり、物を載せないようにしてください。



用紙が正しく送られないときは p. 26 を参照してください。

本機を使用する

本機を使用する前に、プリンタードライバー、ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor などのソフトウェアをインストールしてください。

インストールできるもの

- **P-touch Editor**
P-touch Editor 5.1 では、フォント、テンプレート、クリップアートを使うことによって、複雑なレイアウトの多種多様なラベルを簡単に作成できます。
- **P-touch Update Software**
P-touch Editor を更新する際に使用します。
- **プリンター設定ツール**
P-touch Template 設定を行うためのものです。
- **プリンタードライバー**
機械から印刷するのに必要なソフトウェアです。
- **マニュアル**

1 ソフトウェアのインストーラーは、弊社ホームページ (<http://www.brother.com/inst/>) からダウンロードできます。

2 ダウンロードした .exe ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

インストールが始まる前に、インストールする項目を選択するダイアログボックスで、必要なソフトウェア、マニュアルを選択します。推奨するソフトウェアやマニュアルは既に選択されています。

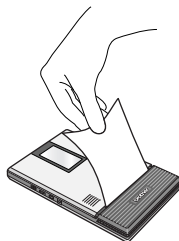
3 画面に従ってインストールを進めてください。

排紙する

用紙が詰まった場合は、以下の操作で用紙を取り除いてください。

用紙排紙口から用紙が出ている場合

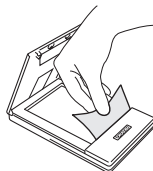
- 1** 用紙排紙口から用紙を引き抜きます。
用紙送りローラーを清掃し、紙粉を取り除いてください (p. 26 参照)。



●用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。

用紙排紙口から用紙が出ていない場合

- 1** カセットカバーを開きます。
- 2** ペーパーカセットを取り出します。
- 3** 詰まっている用紙を引き抜きます。
用紙送りローラーを清掃し、紙粉を取り除いてください (p. 26 参照)。



●用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。



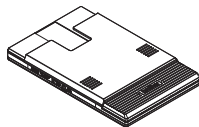
●用紙を引き抜いても、本機の動作には影響ありません。

ペーパーガイドを使う

ペーパーガイドを取り付ける

＊ペーパーガイド（PG-200）は別売品です。

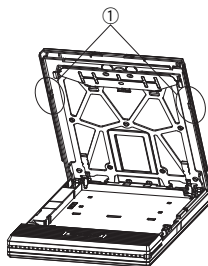
- 1 本機用の紙確認窓が見える面に合わせて配置します。
- 2 左右に爪がかかるように溝がありますので、場所を合わせて「カチッ」と音がするまで押してください。



●ペーパーガイドは何度も着脱して使うものではありません。着脱を繰り返すと本体を傷つける、またはカバーやペーパーガイドが歪む原因となります。

ペーパーガイドを取り外す

- 1 カセットカバーをあけます。
- 2 一般的なマイナスドライバーのようなものをペーパーガイドの爪が掛かっている付近（上下1cmが適切です）、下記①に当て、片方ずつ外します。



お手入れをする



- 必ず本体の電源を切ってからお手入れをしてください。

本機を清掃する

本機表面を清掃します。

- 1 汚れ・ほこりは、やわらかい乾いた布で拭きとります。

汚れがひどいときは、水で濡らして固くしぼった布で拭いてください。

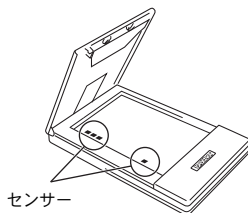


- ベンジンやシンナーなどを使用すると、色や形が変わる原因となります。

センサーを清掃する

センサーが汚れるとペーパーカセットを正しく認識できなくなり、動作不良の原因となります。

- 1 乾いた綿棒などでセンサーについたゴミを取り除きます。



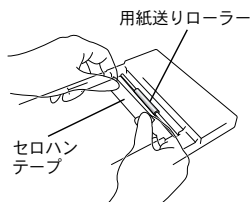
使い方

用紙送りローラーを清掃する

用紙送りローラーが汚れると、用紙が正しく送られません。

1 セロハンテープを用紙送りローラーに貼ります。

2 セロハンテープを用紙送りローラーからはがします。



→ 用紙送りローラーの汚れが取り除かれます。

用紙送りローラーを回して、ローラー全体の汚れを取り除いてください。

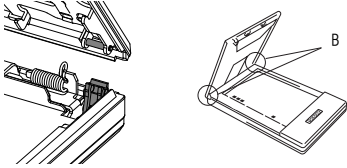
5 付録

こんなとき

Q&A

Q：電源が入らない	A：電源スイッチを、少し長めに押してください。 (→ p. 12 参照) A：リチウムイオン充電電池の容量が残り少ない状態です。充電してください。(→ p. 6 参照) A：リチウムイオン充電電池が入っていない状態です。リチウムイオン充電電池を入れてください。
Q：印刷の指示をしても印刷ができない	IrDA で通信している場合 A：本機と Pocket PC や携帯電話の赤外線通信ポートの間に障害物がないか、または 20 cm 以内に近づけているか確認してください。(→ p. 13 参照) A：USB ケーブルが接続されているときは外してください。 A：AC アダプターが接続されていると、家庭用コンセントからのノイズにより通信が止まる場合があります。AC アダプターを外してください。 A：インターフェイス切替スイッチが Bluetooth になっていると、IrDA は使えません。IrDA に切替え、モード表示ランプが緑色に点灯していることを確認してください。 Bluetooth で通信している場合 A：パソコンまたはモバイル端末の設定で、Bluetooth 通信が有効になっているか確認してください。(パソコンまたはモバイル端末のお使いの取扱説明書を参照してください。) A：他のパソコンまたはモバイル端末が USB または Bluetooth で本機と通信中でないことを確認してください (→ p. 14 参照) A：インターフェイス切替スイッチが IrDA になっていると、Bluetooth は使えません。Bluetooth に切替え、モード表示ランプが青色に点灯していることを確認してください。

付録

Q：印刷の指示をしても印刷ができない	USB で通信している場合 A：本機とパソコンの USB ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。 A：他のパソコンまたはモバイル端末が USB または Bluetooth で本機と通信中でないことを確認してください（→ p. 14 参照）
Q：用紙が詰まった	A：用紙をゆっくり引き抜いてください。（→ p. 23 参照）
Q：詰まった用紙を取り除いてもエラーが解除されない	A：破れた用紙が内部に残っている可能性があります。お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。
Q：ランプが点灯、または点滅している	A：p. 9 の「表示ランプと本機の状態」を参照してください。
Q：カセットカバーがとれた	A：下図の B の部分にある白いカセットカバー受けにカチッと音がするまではめてください。「V」字に傾けるとはめやすくなります。
	

Q：用紙が送られない

A：ペーパーカセット裏側の折り線①をしっかりと折り曲げてください。（→ p. 18 参照）

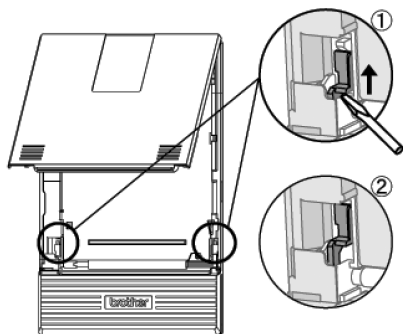
A：カセットカバーが完全に閉じているか確認してください。（→ p. 21 参照）

A：用紙が汚れている可能性があります。ペーパーカセット裏側の 1 枚目の用紙を抜いて、再度セットし直してください。（→ p. 18、p. 20 参照）

A：用紙送りローラーを清掃してください。（→ p. 26 参照）

A：下図（下記）2ヶ所の可動部を、一旦、① から② の状態にスライドさせます。

そのまま、カバーを閉じてください。（カバーを閉じると、可動部は、①の状態に戻ります。）
（※ 長期間利用していない場合、本症状が起こる場合があります）



製品仕様

本体仕様

機種名		MW-260MF i / MW-260 TypeA
表示		モード表示ランプ 青 / 緑 / 赤 充電表示ランプ オレンジ
印字部	方式	ラインサーマルヘッドによるダイレクトサーマル印刷方式
	解像度	300dpi×300dpi
	印字速度	約 20 秒 / 枚 (弊社基準原稿 感熱紙 印字率 7% 25℃環境)
	印字可能枚数	満充電から連続印字 50 枚 ^{*1} (Bluetooth スリープモード時を除く) (弊社基準用紙 A6 感熱紙 印字率 7% 25℃環境)
給紙方式		ブラザー純正ペーパーカセット、自動給紙機構
用紙		ブラザー純正 A6 カット紙 (105mm×148mm)
印刷領域		97.5mm × 140.6mm
電源		リチウムイオン充電電池 (BT-200:7.4V)、充電用アダプター
インターフェイス		MW-260MF i USB Ver. 2.0 (Full Speed) 準拠、Bluetooth Ver. 2.1+EDR Class2 SPP、iAP、IrDA (赤外線) Ver. 1.3 準拠 MW-260 TypeA USB Ver. 2.0 (Full Speed) 準拠、Bluetooth Ver. 2.1+EDR Class2 SPP、IrDA (赤外線) Ver. 1.3 準拠
寸法		130mm (W) × 210mm (D) × 18.5mm (H)
質量		約 520g (リチウムイオン充電電池、ペーパーカセット: 感熱紙 50 枚入り含む)

^{*1} 25℃環境下において、満充電状態の新品充電電池で USB からブラザー標準パターン (印字率 7%) を連続印刷した場合 (A6 感熱紙 C-211 を使用)。周辺温度が低い場合には、印刷できる枚数が少なくなります。

6 よくあるご質問

- 充電用 AC アダプターのケーブルを AC アダプター本体に巻き付けたり、ケーブルを折り曲げたりして移動するうちに、内部の断線により充電できなくなりました。

→ 持ち運ばれる時は、結束バンドなどでケーブルを束ね、負荷のかからないようにしてご利用ください。



- USB ケーブルを接続したままの状態では本機を持ち運んでいるうち、USB コネクタが壊れ通信できなくなりました。

→ 持ち運ぶ際には、ケーブルを抜いてお持ちください。カバンの中であってもコネクタがぶつかると、大きな負荷がかかります。

- 本機を車庫内に放置していたら、車庫内の温度の影響で変形などが起こり、故障しました。また、消耗品も真っ黒になりました。

→ 車庫内は想像以上の高温になることがございますので、放置されないようお願いします。

・本機は、以下の環境で使用できます。

○温度：0 ～ 40 ℃

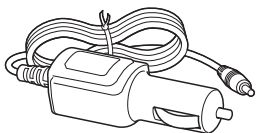
○湿度：20 ～ 80%（最大湿球温度：27 ℃）

よくあるご質問

- ・ 以下のような極端に高温な場所・極端に低温の場所・極端に湿度の高い場所・ほこりの多い場所・振動の多い場所では使用、保管しないでください。

- 車輦内（特に炎天下の閉めきった車輦内）
- 浴室・給湯器の近くなど水がかかる場所、湿気の多い場所
- 雨・霧などが直接入りこむ場所
- 火気・熱機器の近く、強い直射日光が当たるなど高温の場所
- 結露のあるところ

- オプション品としてカーアダプターをご用意しておりますが、充電専用のアダプターとなります。高温環境下に放置されますと、用紙の変色だけでなく、充電電池劣化の原因にもなりますので、車輦内には放置されないようお願いします。



- 電源スイッチを、ペン先など尖ったもので押していたら、大きな負荷がかかり電源スイッチが壊れてスイッチが押せなくなりました。

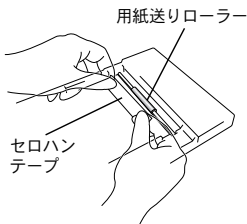
- 指の腹で押すようにしてください。

- 印字した文字の上に捺印したところ、インクがなかなか乾かず擦ると消えてしまいました。

- 感熱面への捺印はお勧めしておりません。これは印鑑メーカー各社様でも同様です。実際にお使いいただく場合には、よく確かめてからご利用ください。インクと同様に、セロハンテープ等の粘着剤やペンでも文字が消えることがございます。

●カセットホルダ内に用紙が残っているのに、用紙が送られなくなっていました。

- 用紙送りローラーに汚れが付着し、それが、用紙のピックアップを阻害しているためと思われます。
用紙送りローラーについた汚れはセロハンテープを使用して除去してください。



●リチウムイオン充電電池を長持ちさせるためには

- ・ リチウムイオン充電電池はこまめに充電する事を避け、充電電池を使い切ってから充電されることをお勧めします。※注意
- ・ 高温環境下ではリチウムイオン充電電池の劣化が進みます。保管の際は、高温（炎天下の閉め切った車内など）を避け、直射日光を避けて下さい。
 - ・ 長期間使用しない場合は、リチウムイオン充電電池の性能維持のため、プリンター本体からリチウムイオン充電電池を取り外し、冷暗所にて保管して下さい（20℃以下）。ただし、何もしなくても自然放電を行いますので、6ヶ月に1度は充電を行い、冷暗所にて保管ください。※注意

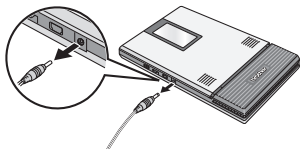
（※注意）充電電池残量の目安について

バッテリー充電ランプが1回点滅を繰り返す状態になると、30%未満の充電状態になります。

よくあるご質問

●電源差込口のコネクターが壊れ充電できなくなりました。

→ 電源アダプターのジャックを接続したまま、本機を持ち運んでいるうち、コネクターが破損することあります。このような不具合をなくす為には、電源差込口のコネクターからジャックを抜いてお持ちください。



電源アダプターのジャックを接続した状態で持ち運ばれますと、ジャックに繰り返し力が加えられます。本体側のコネクターに負荷がかかり、コネクターの半田付けが外れ、導通不良となる場合があります。

精密な機器ですので、ジャックの抜き差しにつきましても、充分なご注意をお願い致します。

●純正品用紙以外を使用しますと、搬送不良が頻発する可能性があります。

→ 弊社のモバイルプリンターには、ブラザーの提供する純正品用紙をご使用下さい。他社製の用紙をご使用されますと、場合によっては、搬送不具合が多発し、清掃しても解決できないことがあります。他社製の用紙に起因する故障の場合には、無償保証期間内であっても有償修理となりますので、ご注意ください。尚、全ての用紙で不具合が発生する訳ではありません。

●ペーパーカセットの取扱いにつきまして

→ 弊社のモバイルプリンターは、セットしたペーパーカセットによって用紙の種類を識別し、その用紙に最適な設定を自動的にを行っています。

用紙を抜いて別のカセットに入れ替えないでください。また一度使用した用紙、ペーパーカセットから出した用紙につきましては、再びペーパーカセットに戻さないでください。重送、空送といった搬送不良、ヘッドの故障の原因となるおそれがございます。

●万一冷温環境下にプリンターを持ち運んだ場合

→ 0℃を下回る環境では、プリンターは動作しない場合がございます。また、極低温環境（10℃以下）になる場合には、印刷枚数が少なくなります。

プリンターの雰囲気温度を0℃以上となる場所で印刷をお願いします。万一、冷温環境に持ち込んだ場合には、結露を避けるため、ゆっくりと温度が変わるようにして、少しずつ外気温に近づけてください。

●感熱紙の保管について

【印字前の保管について】

→ 包装状態（光、ガスを通さない状態）にて、25℃、湿度65%RH以下の環境下にて保管してください。また、購入後1年以内に使用してください。

【印字後の保管について】

→ 25℃以下の冷暗所（ファイリング状態を含む）にて保管してください。

【保管における注意事項について】

- ・感熱面および裏面に、次のものを接触させないでください。
 - 1) 裏カーボンおよびノーカーボン紙、ジアゾ感光紙
 - 2) 軟質塩化ビニル製品、ゴムマット、消しゴム等の可塑剤を含むもの
 - 3) 接着テープ類、修正液、油性マジック、サインペン
 - 4) アルコール、ケトン、エステルおよびエーテル基を有する有機化合物
 - 5) 皮革製品、ハンドクリーム、整髪料、化粧品
- ・雨水、水、汗等液体に漬けないでください。
- ・濡れた手や汗ばんだ手で触れないでください。
- ・感熱面は糊付けしないでください。また、裏面に糊付けする場合は、でんぷん系、ポパール系またはCMC系等の水性系糊をご使用ください。
- ・感熱面及び裏面に捺印をする場合、捺印部分は捺印インキ成分との化学反応により感熱面白紙部の変色や記録部が褪色します。
- ・感熱面を引っかいたり、摩擦熱を与えたりしないでください。
- ・大切な書類は別にコピーしてお持ちください。

よくあるご質問

【感熱紙に関する事前注意】

1. 印字後短期保存及び印字後長期保存については、あくまでも情報の提供を主たる目的で作成したものであるため、ブラザーは数値・耐用年数等の記載内容を保証するものではありません。
2. 記載の印字性能は、用紙の保管環境や印字面への脂・埃の有無、印字環境等によって影響を及ぼされる為、製品の購入後は実際の使用環境において確認後、お客様ご自身の責任において使用してください。
3. ブラザーは、記載内容に関連してお客様に生じた損害・逸失利益等について、一切責任を負いません。

brother

D01248001

